

事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	議会の運営					事業類型	内部事務						
担当部課	議会事務局 庶務調査課、議事課												
基本計画	編	-	章	-	施策番号	-	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-				
予算科目	会計	一般会計			款	01	議会費	項	01	議会費	目	01	議会費
根拠法令等	地方自治法、八王子市議会基本条例、八王子市議会委員会条例、八王子市議会政務活動費の交付に関する条例、八王子市議会会議規則、八王子市議会決定事項												
事業目的 (最終的に目指す状態)	市民に開かれた議会を目指し、本会議・委員会等の市議会の運営、活動を実現すること。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	
経常費用	人件費	職員給与費	75,490	79,567	81,468	1,901	経常収入	保険料	0	0	0	0
		賞与・退職手当引当金繰入額	7,643	19,051	14,992	△ 4,060		国庫支出金	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		都支出金	0	0	0	0
	小計		83,133	98,618	96,459	△ 2,159		分担金及び負担金	0	0	0	0
	物件費等	物件費	18,315	14,969	20,356	5,386		使用料及び手数料	0	0	0	0
		維持補修費	0	0	0	0		繰入金	0	0	0	0
		減価償却費	242	966	966	0		その他	150	177	101	△ 77
		その他	0	0	0	0		小計	150	177	101	△ 77
	小計		18,557	15,936	21,322	5,386		経常収支差額(A)	△ 129,677	△ 138,072	△ 140,770	△ 2,698
	その他の業務費用	支払利息	0	0	0	0		特別費用	0	0	0	0
		徴収不能引当金繰入額	0	0	0	0		特別収入	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0		特別収支差額(B)	0	0	0	0
	小計		0	0	0	0		本年度収支差額(A)+(B)=(C)	△ 129,677	△ 138,072	△ 140,770	△ 2,698
	小計		101,690	114,554	117,782	3,228						
	移転費用		28,137	23,695	23,089	△ 606						
小計		129,827	138,249	140,871	2,622							

3年度	経常費用	経常収入
主な内訳	全国市議会議長会等負担金【2,773千円】 政務活動費【20,316千円】 インターネット中継配信委託【3,361千円】 クラウド型情報共有会議システム【3,498千円】 速記及び会議録原稿作成委託【6,927千円】	—

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
10.44人	11.13人	11.42人	0.29人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
その他	人件費比率	%	64.0	71.3	68.5	△2.9	
活動指標	会議の回数	回	136	145	162	17	4常任委員会の所管事務調査による回数増
	単位当たりコスト	円/回	954,611	953,440	869,571	△ 83,868	
活動指標	政務活動費の執行率	%	88.4	72.6	73.2	1	実績による
	単位当たりコスト	—	—	—	—	—	
活動指標	調査受付け・依頼件数	件	290	290	290	0	実績による
	単位当たりコスト	円/件	447,679	476,720	485,760	9,041	
	単位当たりコスト	円/					

事業実績

<p>3年度目標</p>	<p>◎令和2年度までマンパワー事業の一部として取り組んできた「議会改革への取組」の課題である「議会のICT化推進事業」につき、議会の運営事業に組入れ予算事業として実施 ◎各常任委員会において、所管事項に関する調査が能動的に行われ、専門性を発揮した政策提案や提言を目指し、委員会活動が活性化するように、各常任委員長を補佐 ◎各種会議における情報共有会議システム及びタブレットの活用の調査・研究を進め、令和4年度からオンライン会議等新たな会議運営の試行に入れるよう準備</p>	<p>2年度末時点の課題</p>	<p>・常任委員会所管事務調査の適正な実施に向けガイドラインについての全議員の共通認識の確立 ・情報共有会議システム及びタブレット端末の会議における活用方法が未定</p>
<p>目標に対する事業実績</p>	<p>◎クラウド型情報共有システム・タブレット端末導入、運用 ・導入：～R3.7月、運用：R3.9月～ ◎常任委員会所管事務調査 ・6月開催の常任委員会で調査テーマの決定 ・8月以降開催の常任委員会で調査・研究の実施 ◎情報共有会議システムの活用 ・議案等資料掲載範囲や方法を市側と調整（随時） ・準備会議及び検証会議にて、タブレット端末での議案や資料閲覧に応じた本会議等の運営及びその検証、及びオンライン会議など新たな会議運営についての調査研究を実施</p>	<p>課題への対応</p>	<p>◎常任委員会所管事務調査について ・全議員出席の会議の場で要点解説 ◎情報共有会議システムについて ・市側との運用方法等情報共有 ・庶務調査課主導の「議員ICT研修会」及び「ICT導入準備会」において課題を解決し、ペーパーレス化を促進</p>
<p>3年度評価</p>	<p>達成</p>	<p>次年度(5年度)以降の展開</p>	<p>改善</p>

今後の取組

<p>4年度目標</p>	<p>◎各常任委員会において、所管事項調査に基づく政策提言等を適法・適正かつスムーズにとりまとめる。 ◎有事の際、タブレット端末を活用したオンライン会議が開催できるよう、委員会条例等を改正、運用規程を整備。</p>	<p>3年度末時点の課題</p>	<p>・常任委員会所管事務調査を開始後、初めての政策提言に向け、模範例となるような委員長報告や提言等を取りまとめる ・情報共有会議システム及びタブレット端末運用の本格実施 ・タブレット端末を活用したオンライン会議に向けた運用方法の構築、及び委員会条例等の改正</p>
<p>4年度の取組</p>	<p>◎情報共有会議システム及びタブレット端末運用 ・会議における本格運用実施 ◎常任委員会所管事務調査 ・年内に提言等を取りまとめる ・5年1定で委員長報告、提言等提出 ◎情報共有会議システムの活用 ・4年2定を目途に委員会条例等を改正 ・年度内に運用規程を整備</p>	<p>5年度の計画</p>	<p>・議員改選後の新たな体制で、引き続き、議会の安定的運営及び議会改革を推進する。</p>

事業概要

事務事業評価シート（令和3年度（2021年度）事業）

事務事業名	市議会だよりの発行					事業類型	内部事務						
担当部課	議会事務局 庶務調査課												
基本計画	編	-	章	-	施策番号	-	まち・ひと・しごと 創生総合戦略	-	-				
予算科目	会計	一般会計			款	01	議会費	項	01	議会費	目	01	議会費
根拠法令等	議会基本条例												
事業目的 (最終的に目指す状態)	議決機関としての活動状況を積極的に市民に周知し、議会への関心を喚起すること。												

行政コスト計算書

(単位 千円)

勘定科目		元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	勘定科目	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)			
経常費用	人件費	職員給与費	20,246	20,017	19,975	△ 42	経常収入	保険料	0	0	0	0	
		賞与・退職手当引当金繰入額	1,872	3,633	3,207	△ 425		国庫支出金	175	180	185	5	
		その他	0	0	0	0		都支出金	87	90	92	3	
		小計	22,119	23,650	23,182	△ 468		分担金及び負担金	0	0	0	0	
	業務費用	物件費等	物件費	16,122	16,702	16,999		297	使用料及び手数料	0	0	0	0
			維持補修費	0	0	0		0	繰入金	0	0	0	0
			減価償却費	0	0	0		0	その他	0	0	0	0
			その他	0	0	0		0	小計	262	269	277	8
	その他の業務費用	その他	支払利息	0	0	0		0	経常収支差額(A)	△ 37,978	△ 40,082	△ 39,903	179
			徴収不能引当金繰入額	0	0	0		0	特別費用	0	0	0	0
その他			0	0	0	0	特別収入	0	0	0	0		
小計			0	0	0	0	特別収支差額(B)	0	0	0	0		
小計	38,240	40,352	40,181	△ 171	本年度収支差額(A)+(B)=(C)	△ 37,978	△ 40,082	△ 39,903	179				
移転費用	0	0	0	0									
小計	38,240	40,352	40,181	△ 171									

3年度	経常費用	経常収入
主な内訳	市議会だより印刷費【8,284千円】 市議会だより各戸配布等業務委託料【7,943千円】	—

事業の人員体制（会計年度任用職員を除く）

元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)
2.80人	2.80人	2.80人	0.00人

指標と単位当たりコスト

	指標名	単位	元年度	2年度(a)	3年度(b)	対前年度(b-a)	指標値の増減要因
その他	人件費比率	%	57.8	58.6	57.7	△0.9	
活動指標	市議会だより発行部数	部	1,127,800	1,131,200	1,138,400	7,200	世帯数の動向による
	単位当たりコスト	円/部	34	36	35	0	
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					
	単位当たりコスト	円/					

事業実績

3年度目標	市民にわかりやすい市議会だよりを発行し、市民が市議会や市政に対する理解を深める一助となること。	2年度末時点の課題	記事を読んでもみようと考えるよう、引き続き改善を進め、より読みやすく、読みまちがえにくい紙面とする。 また、紙面に掲載されていない議論などについて、QRコードの活用を検討する。
目標に対する事業実績	<ul style="list-style-type: none"> ①文字ばかりにならないよう、箇条書きや図表・写真・イラストを多様し、ホワイトスペースを確保して、見やすく、読みやすくした。 ②斜め読みができるよう、小見出しを付け、記事の拾い読みで内容が伝わるようにした。 ③表紙面の文字情報を減らし、写真を大きくするなど、より手に取って、記事を読んでもみようと考えるよう、紙面づくりに取り組んだ。 ④コロナ禍の中、市議会における議論や対応、タブレット端末の導入について掲載したほか、対面で開催できなかった議会報告会について、動画と紙面を活用し、議員自ら作成に取り組んだ。 	課題への対応	<p>タイトルや小見出しの大きさ、配置を工夫とともに、写真やイラストを盛り込むことで、より記事を読んでもみようと考える紙面づくりに取り組んだ。</p> <p>また、紙面に掲載されていない議論などについて、QRコードの活用を積極的に行った。</p>
3年度評価	達成	次年度(5年度)以降の展開	改善

今後の取組

4年度目標	本会議や委員会以外の活動や特集を組むことにより、市民が市議会や市政に対する理解をさらに深められるよう、市民にわかりやすい市議会だよりを発行する。	3年度末時点の課題	記事を読んでもみようと考えるよう、引き続き改善を進め、より読みやすく、読みまちがえにくい紙面とする。
4年度の取組	<ul style="list-style-type: none"> ①文字ばかりにならないよう、箇条書きや図表・写真・イラストを多様し、ホワイトスペースを確保して、見やすく、読みやすくする。 ②斜め読みができるよう、見出しの拾い読みで内容が伝わるようにする。 ③市議会の活動をわかりやすく伝えるため、紙面の許す限り特集を組んでいく。 ④紙面に掲載されていない議論などについて、QRコードを積極的に活用する。 	5年度の計画	市民にわかりやすい市議会だよりを発行し、市民が市議会や市政に対する理解を深める一助となること。